



楽になりたい

育児ストレスは子供が3人の母親が最も強く感じている。子供が4人になるとストレスは減少。

以前にそんな記事を読み、「やっぱり！」と興奮したことがあります。アメリカの情報サイトが7千人以上の母親を対象に行った調査結果です。

子供の人数が増えれば手が回らなくなってしまいます。それでも3人まではまだ母親が完璧を目指してしまった。しかし、4人になると手が回らない状況を受け入れておもしろ気樂になるというのです。

私の子供は小学生2人と幼稚園児1人。完璧にはできなくても、がんばれば全部こなせるはずと思っているのは確かです。3人はその境目の人数なんですね、きっと。

先日は幼稚園の日曜参観を、当日にすっかり忘れて親子で無断欠席。上の子2人にもそれぞれ別の予定があり、そちらに気をどられていました。同様の失敗を何回かやっている

駅に着き、「ここでいつか」と靴を脱がせてホームのベンチに立たせました。勢いよくズボンを引き下ろしてびっくり。おしりがべるん。パンツ履いてない！ラッシュは過ぎていましたが、まだ通勤客で混雑しているホームです。急いでズボンは引き上げました。

もうこのまま行つてしまえと、予定していた電車に乗りこみほっと一息。しばらくすると今度は、「ちーかーん。…ちかんって何？」

最近ひらがなを覚えはじめた息子が車内ポスターを見て聞くのです。しかも場違いの声の大きさ。「ちかん」の言葉に、乗客の耳が一齊にこちらを向いたように感じました。

痴漢について、この状況で説明する？内心うろたえていると、

「それはね？」

小3の娘が答えてくれるようですが、「ちかんっていうのは、つまり、へんたい！」

「ああ、へんたいねく」

私は、これでも細心の注意を払つてゐつもり。がんばつている結果がこれから、余計に情けなくて…。

もう、手が回らないことを受け入れて、楽になりたい！それで夫に言ってみたんです。「もう一人産むと、ストレスが減るらしい」と。「…もう勘弁してください」と言われてしましましたけれど。

子供と電車でおでかけ

我が家育児も楽にはなっています。物理的には。夏休みには小3の娘と年長の息子と一緒に、朝から電車で出かける機会がありました。オムツもミルクもバギーもいらぬんだから、身軽になつたとしみじみ。

それでも出かける準備は毎度バタバタで、息子のズボンがまたしても前後逆であることに気付いたのは駅まで歩いている途中でした。ズボンは前か後ろの二択でしょう。正答率1割というのが不思議でなりません。

そういう答えで納得するのか。私がこの場でリアルに痴漢の説明をしないでよかったです。娘、ナイス。

子供がパンツをいつから履いていないのか知らないほど手は回つていませんが、その分、兄弟に助けられていることがたくさんあります。

それに私が度々ボカするものだから、子供たちは自分の予定に気を張るようになつきました。日曜参観を忘れて以来、幼稚園児にも「明日は引き取り訓練だからね！」などと念を押されます。

子供が1人でも2人でも3人でも、完璧を目指す必要はないんですね。

文・写真
小宮華寿子
出版社編集部員
を経て、フリーランスの編集者
に2男1女の母。著書に『プラジル
の手しごと』(メイツ出版)がある。



イラスト
デザイン
寺沼麻美
切り絵作家、時々
デザイナー。「ゆ
らゆらゆれる北欧風手作りモビ
ール」(ネコ・パブリッシング)を監修。